

草津温泉一覽

全

柳田文庫

文庫11

A185

10

15

20

25

30

草津温泉



草津

文庫11

A/1851

草津温泉一覽

奇湯院

草津温泉の湯

とて七人の老女が湯を浴び

近衛北山書院

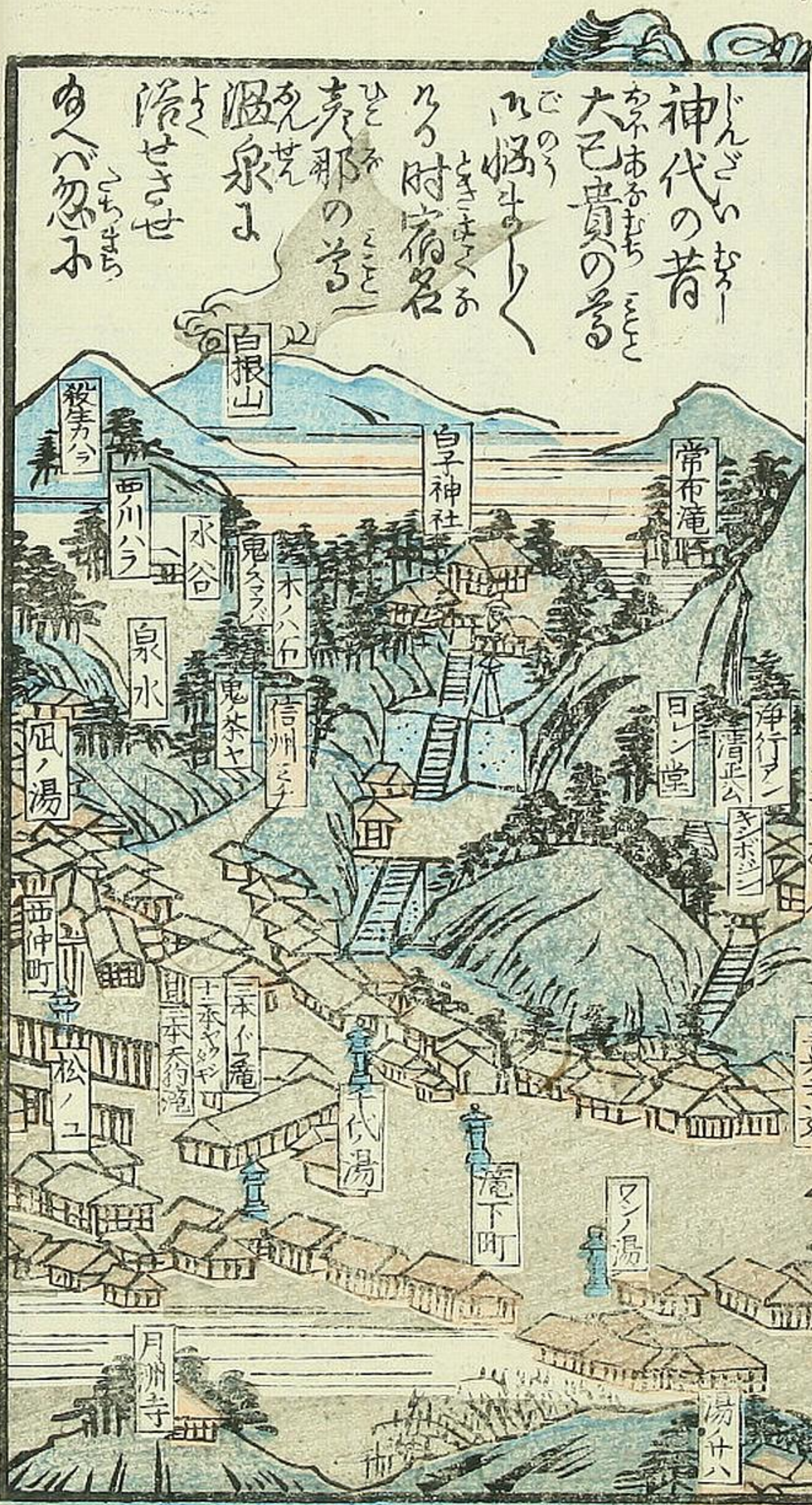
南本
十二

湯

48-8707

草津温泉

上野國 吾妻郡 草津村



神代の昔
大己貴の昔
時宿名
湯泉
白根山



山平念あり
それより二神
困民の病疾
よて天折するを
石ノ山

法と庶人小教へ
 おひるまより
 后の基法法
 際又法を御
 一と道路河橋
 温泉の地を南
 れが中の中
 別の温泉あり
 とぞあるとぞ

含養薬名	五種泉名	熱ノ湯	鷲ノ湯	地藏ノ湯	御座湯	滝ノ湯
硫酸亞酸化鉄	〇・二二八	〇・二六八八	〇・二六八九	〇・二六六三	〇・一九二八	
硫酸礬土	一・一八〇	〇・〇二一五	〇・七一九八	〇・三〇五一	〇・二五八四	
硫酸石灰含珪酸	〇・二五五	〇・六三八九	〇・六一四九	〇・七三三二	〇・六七三一	
硫酸苦土	〇・二九九	〇・二三三一	〇・二二八七	〇・〇一五〇	〇・三〇八四	
硫酸加里硫酸曹達	〇・四二〇	〇・二四〇〇	〇・二〇五〇	〇・四八六〇	〇・二〇三五	
酸性燐酸石灰	未定	(水量不)	足ニ因ル			
燐酸	〇・〇七二八	〇・〇四五〇	〇・〇一三二	〇・〇〇七二		
遊離硫酸	一・三三九二	一・八六七四	一・七五七八	二・三三八四	二・二一八一	
遊離塩酸	〇・八五三三	〇・七四六一	〇・八八七五	〇・八四八五	〇・八〇三〇	
有機物	痕跡同	同	同	同	同	
総量	四・三九五二	四・〇八八六	四・七二七六	四・四七二〇	四・五五八五	

草津村五ヶ所鑛泉分析表
 左ノ成分ハ一千立方センチメートル即チ一リットルニ我五合五夕四強中ニ含有フル者ナリ
 五ヶ所ノ外數十ノ浴場
 アレ氏含養大同小異

温泉切能

あつひぜん
 かさたての
 ようたき
 骨がとと
 たいとく
 せんき
 そんじやう
 かんがさ

貴とれ温泉あるふ今の人の醫業の
 ことを知つて温泉の効をある者
 とぞあるとぞ

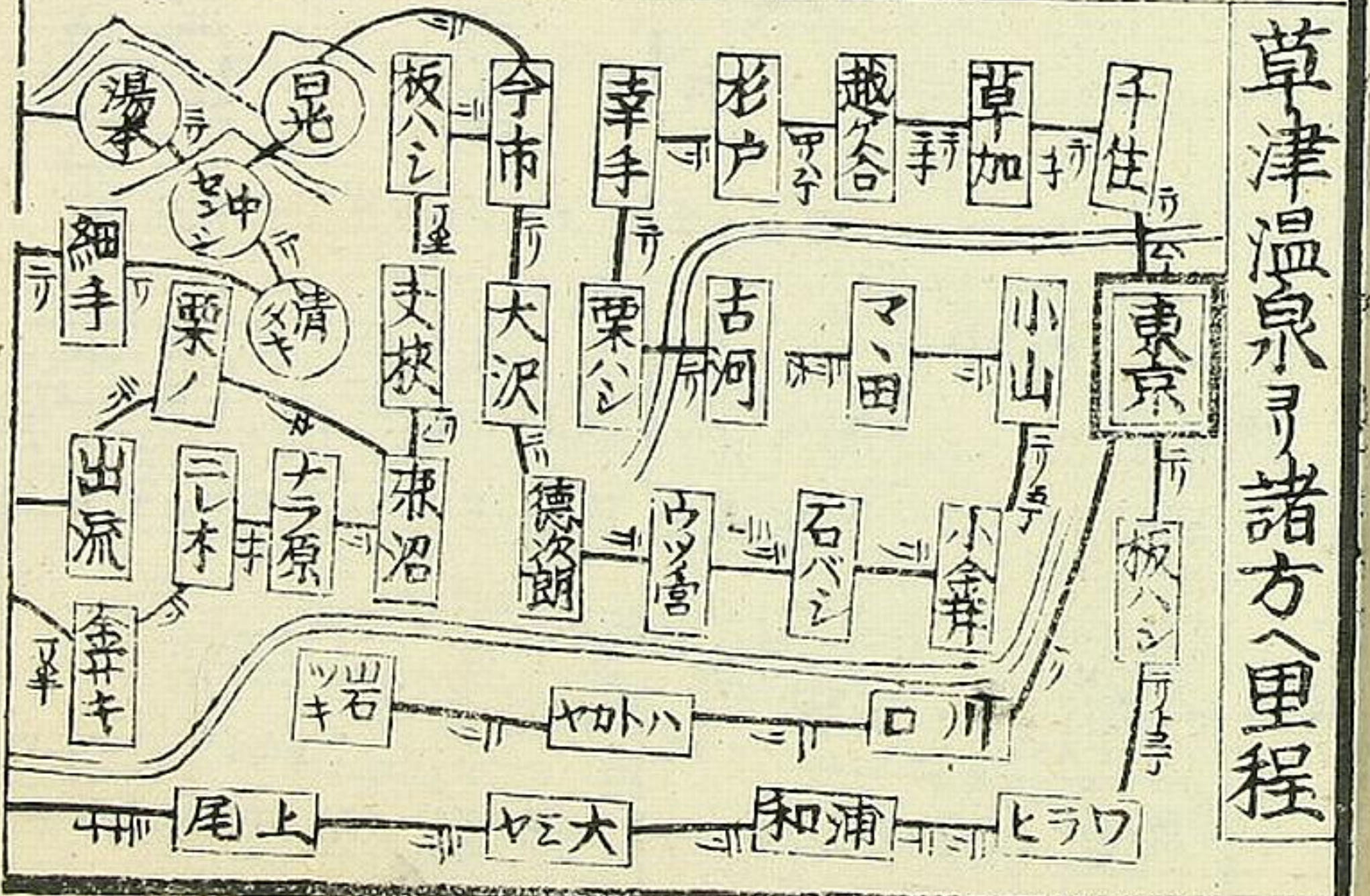
左ノ雙桂先生の著する温泉小
 云の書ハ温泉出現の理成さるる
 病をよよりて益あると害あるとの
 差別を能く安しこれを醫者をして
 め病人も必き心得べたりのあるべ
 其書の本々も我あふ出さ
 凡そ温泉の功効ハ湯を凡我宜用

脚氣の湯
 此湯かつげよ
 強ゆるるる人
 多よよぶ


脚氣の湯
 入浴せしれ
 湯あり

脚氣の湯
 此湯かつげよ
 強ゆるるる人
 多よよぶ



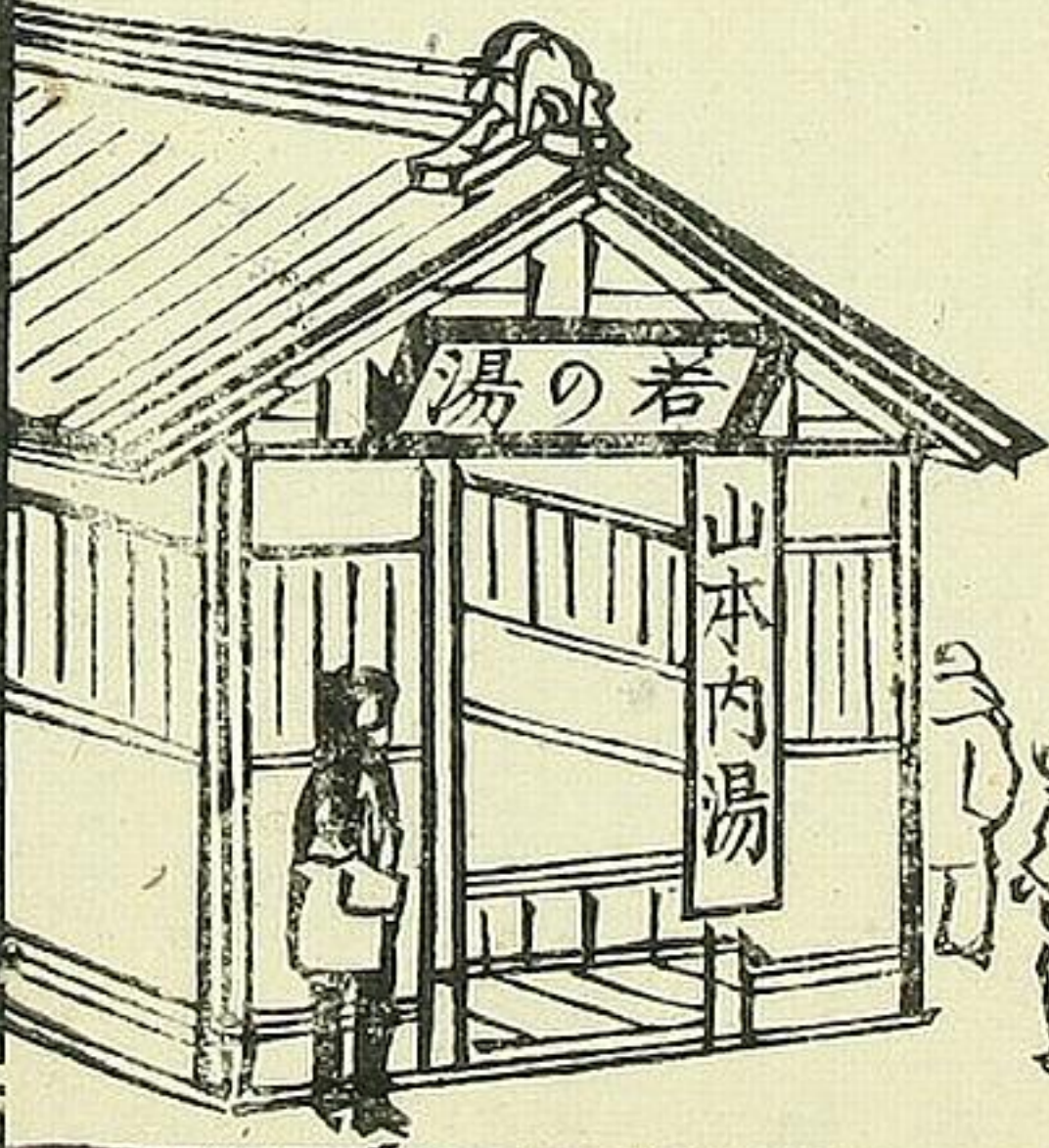


白鳥の湯
 二本
 不動滝
 二本
 茶師
 二本
 天狗
 滝



湯の若
 山本内湯

湯の若
 山本内湯



湯の若
 山本内湯

千代の湯
むらぎの毛を
洗ひ湯
あつと



地蔵の湯
乳のこまを
煮る湯
よた湯



綿の湯
肌身を何と
ゆるる湯
ゆつてある



松の湯
効力を松の
信よ
湯

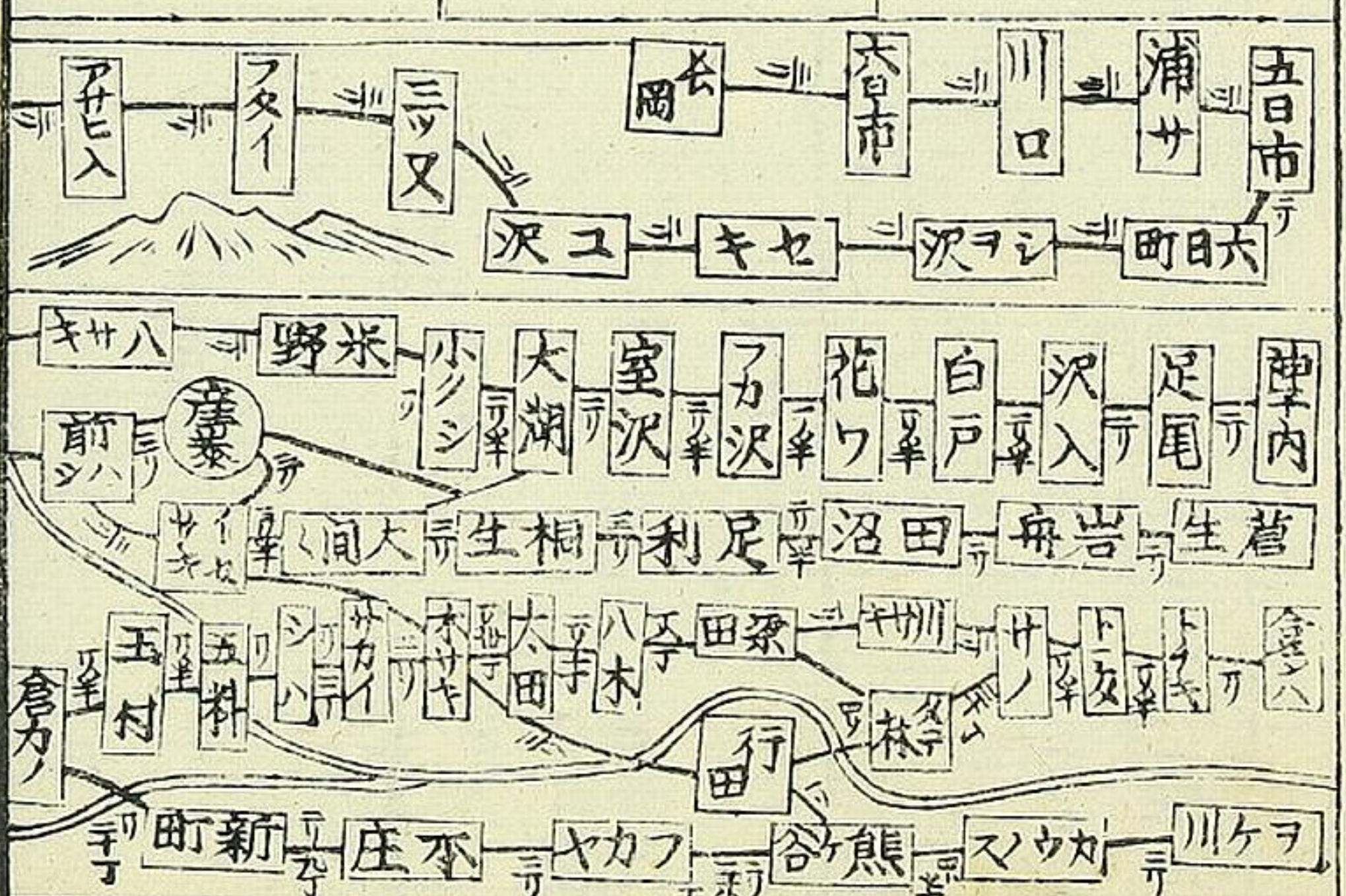
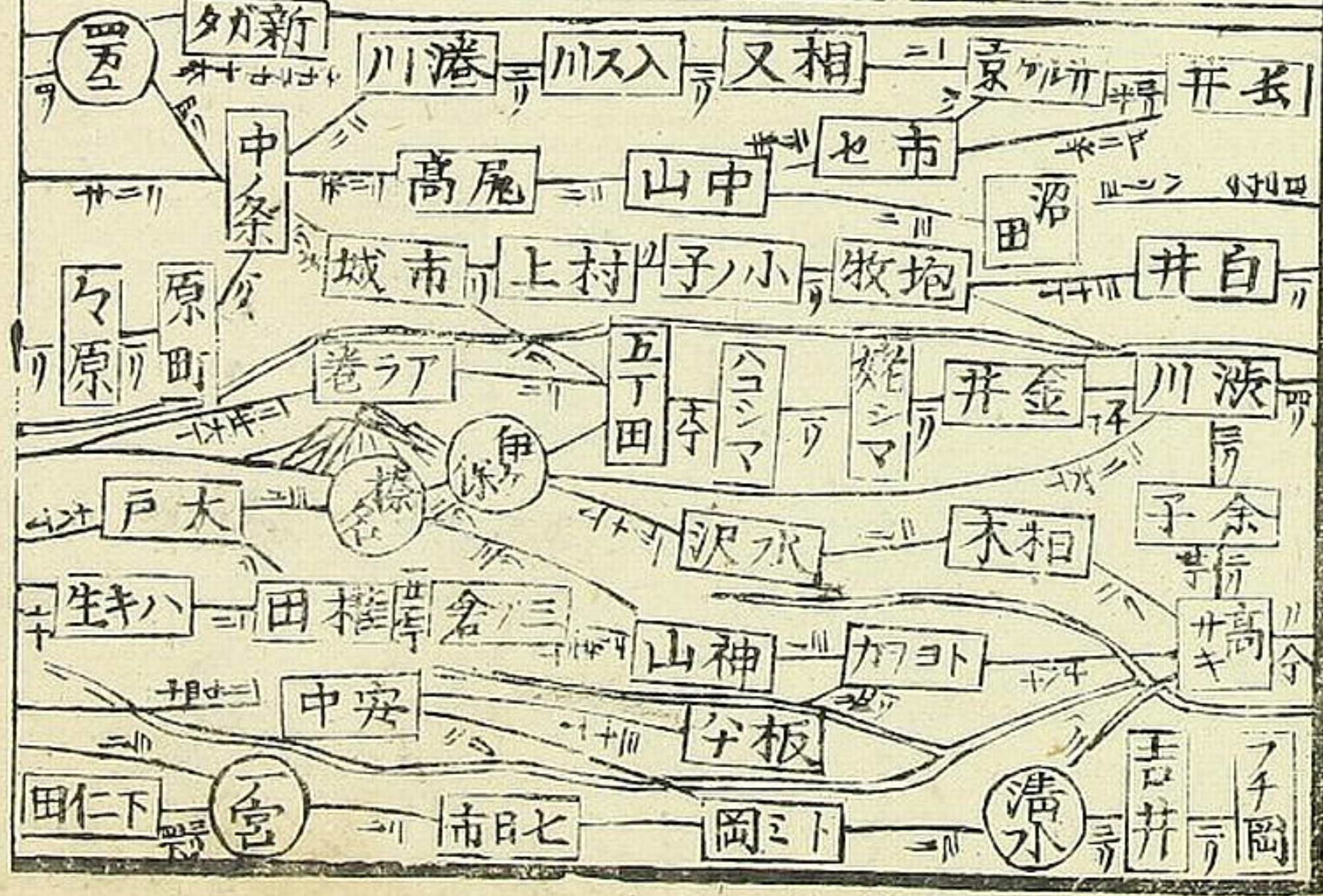


風の湯

おん
泉
ありと

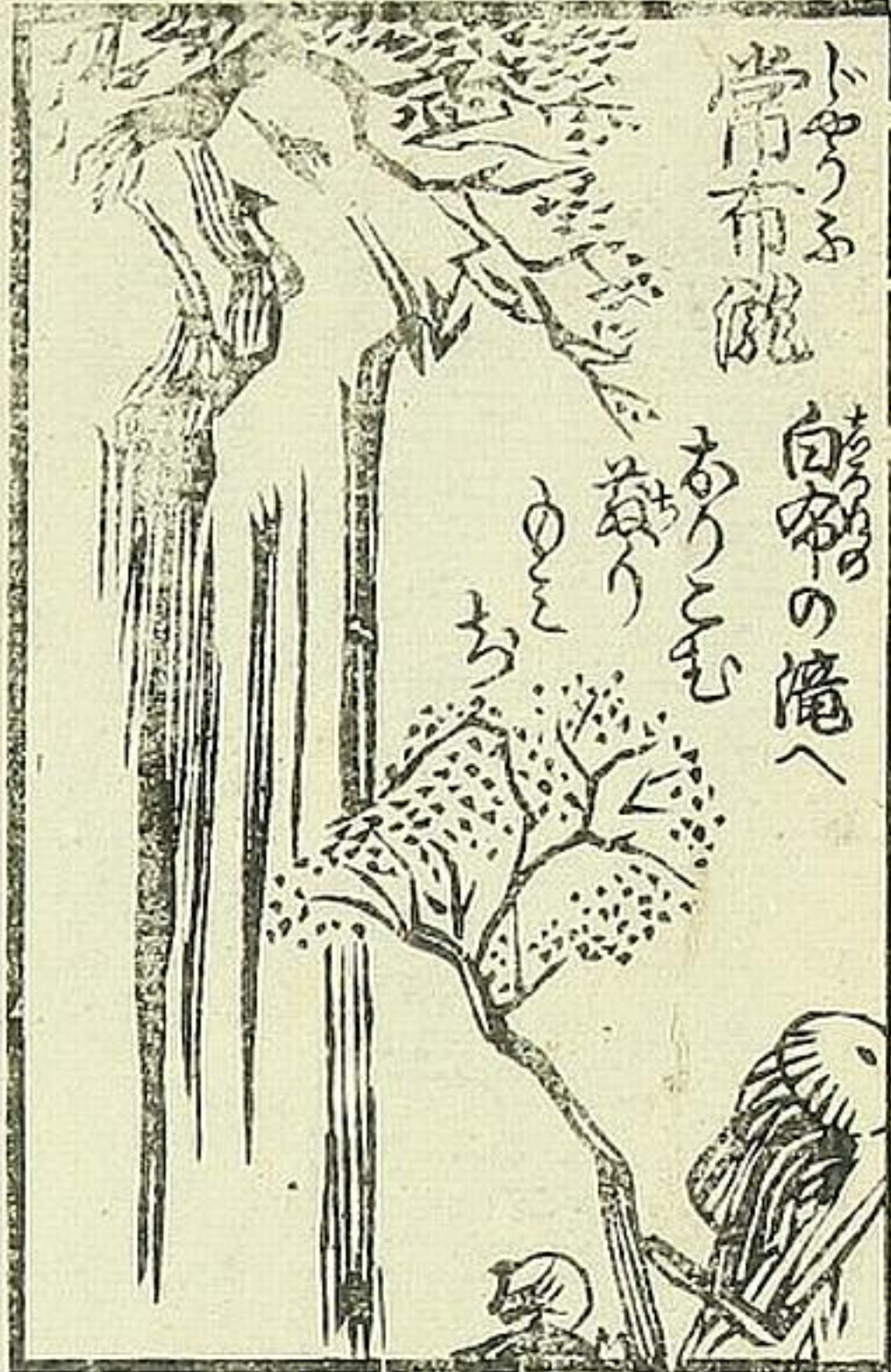


寒
は
さ
さ

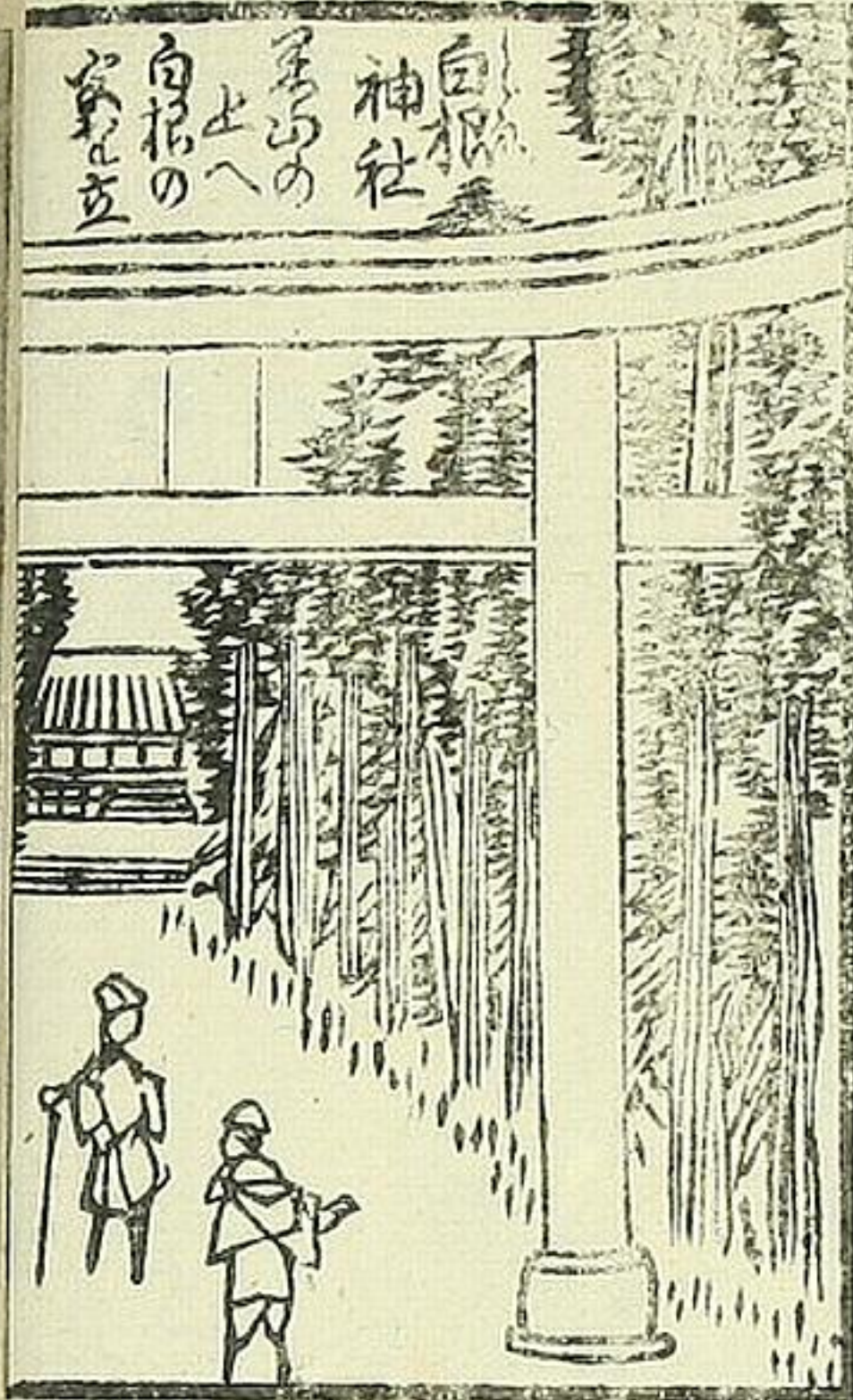


草津二十景

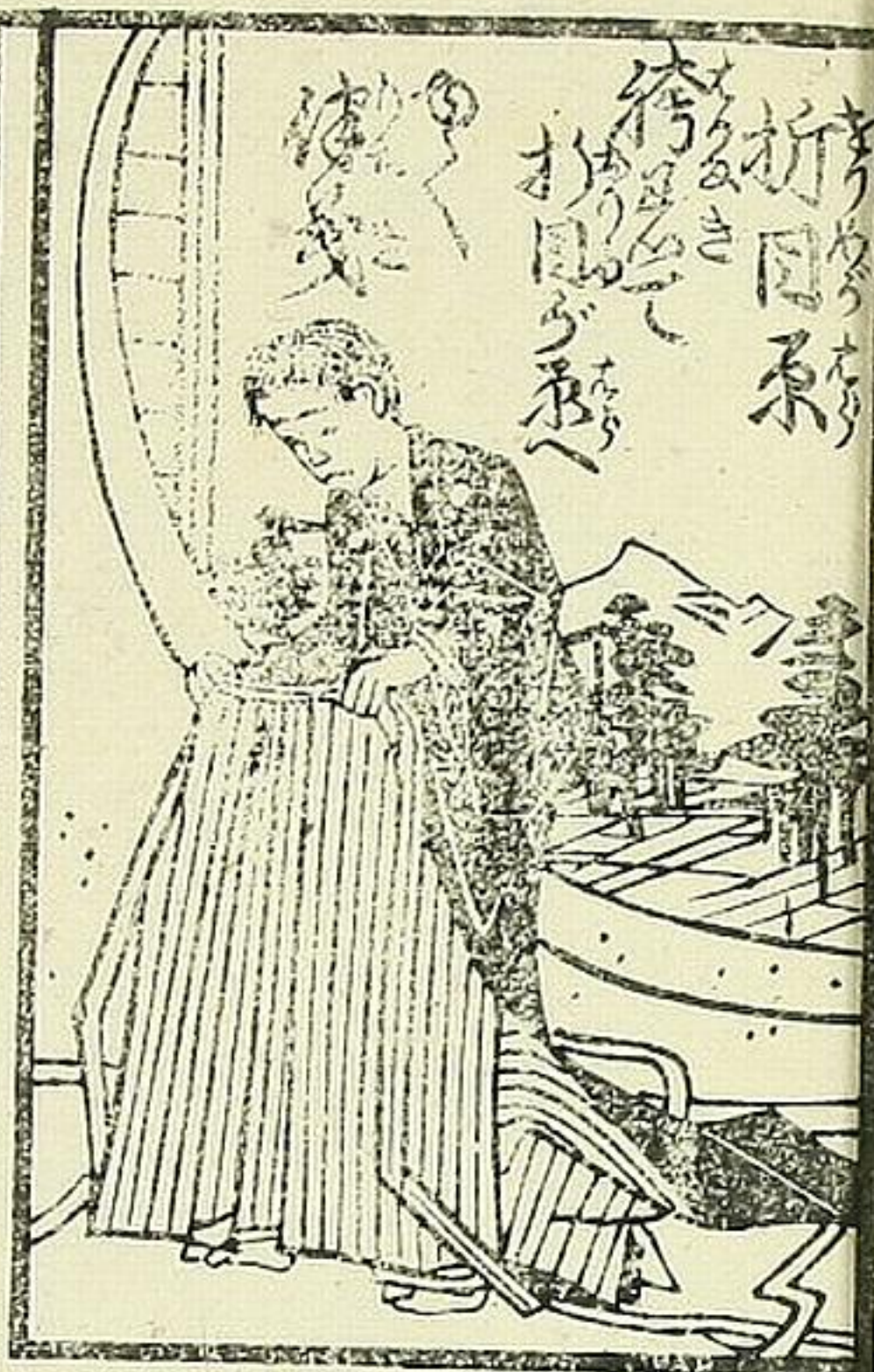
草津



トウチ
常布滝
白布の滝へ
ありとも
あつち



白根
神社
白根の
止へ
白根の
家と立



折目系
折目系
折目系
折目系



基の
折目系
折目系
折目系



殺生
河系
殺生の
川系で
川系で
川系で



西系
川系
川系
川系



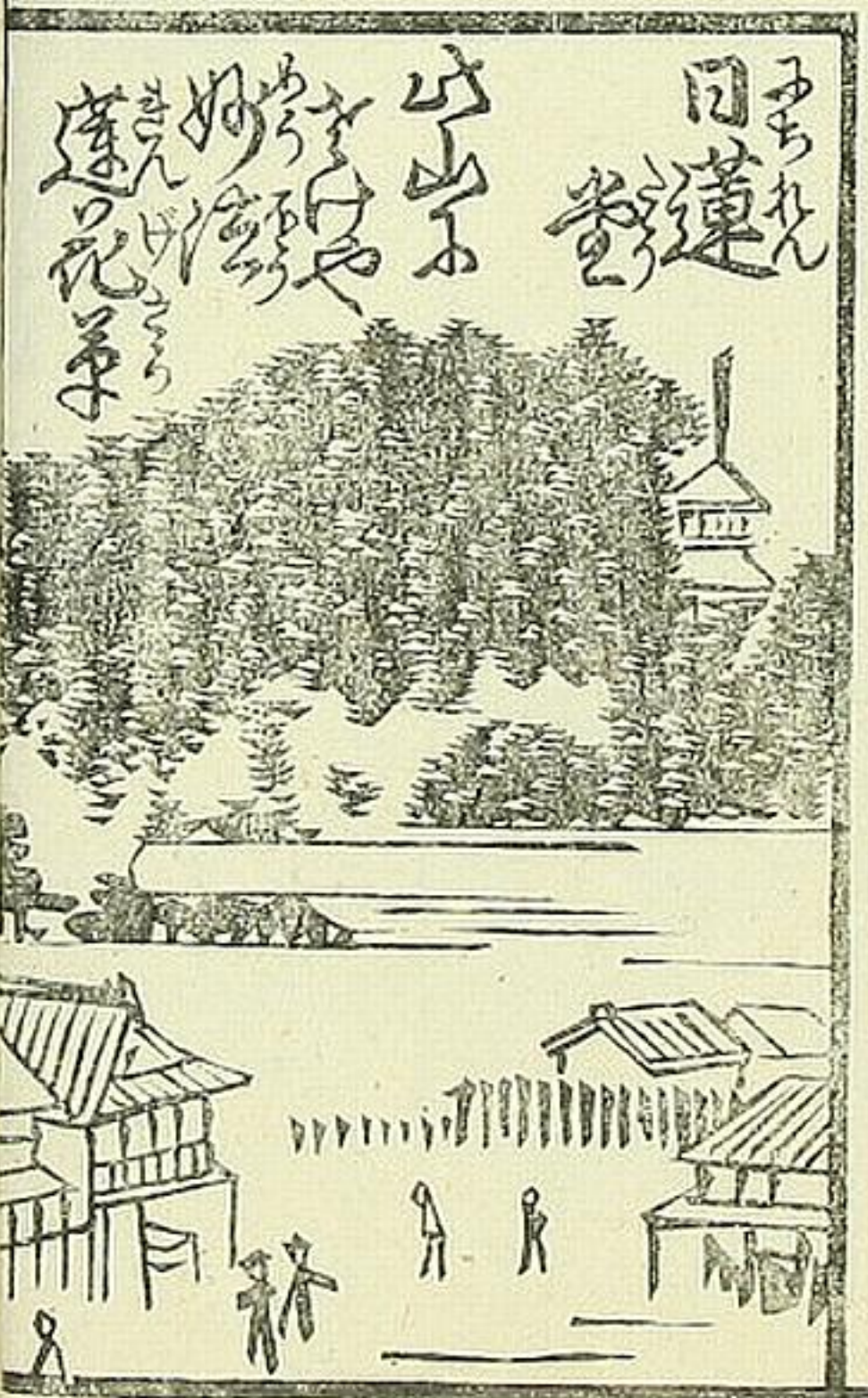
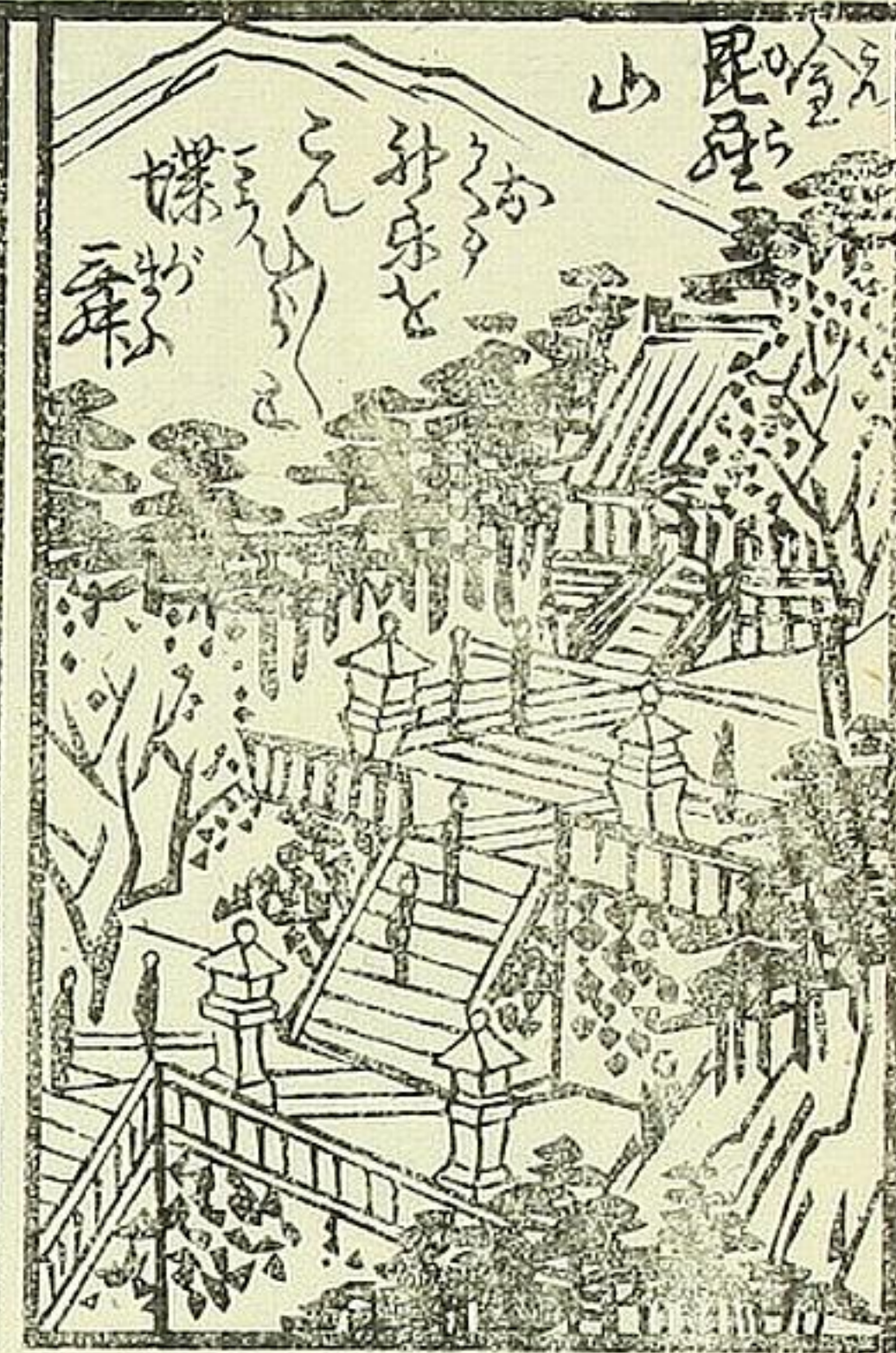
氷谷
氷谷
氷谷
氷谷



鬼の
角力場
鬼の
角力場
角力場

七

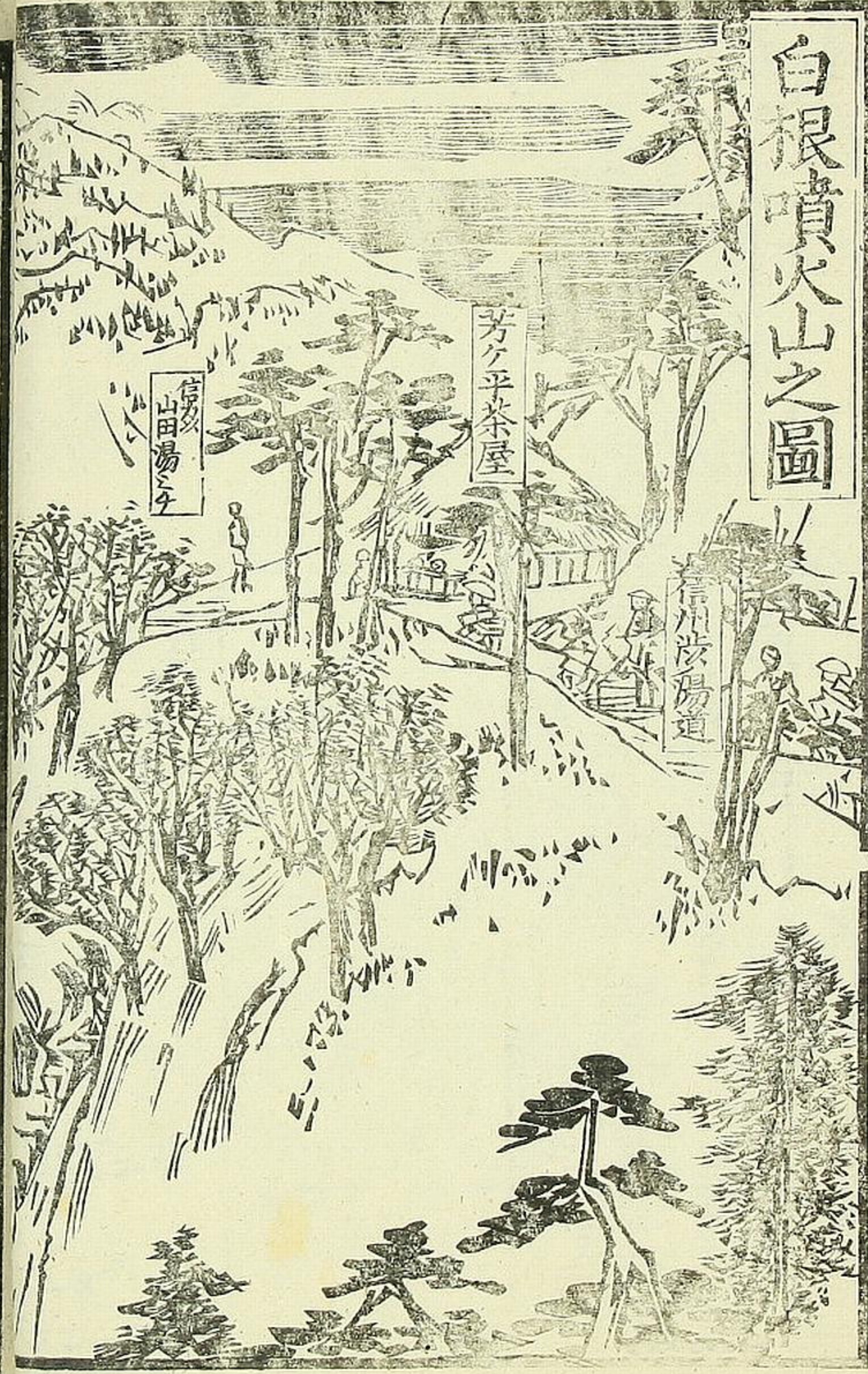
孔子曾皙志ヲ
 問フ其答曰
 暮春者春服既成
 冠者春服既成
 童子者春服既成
 六人浴乎沂
 七人浴乎沂
 而歸乎
 曰吾與
 也



白根噴火山之圖

草津

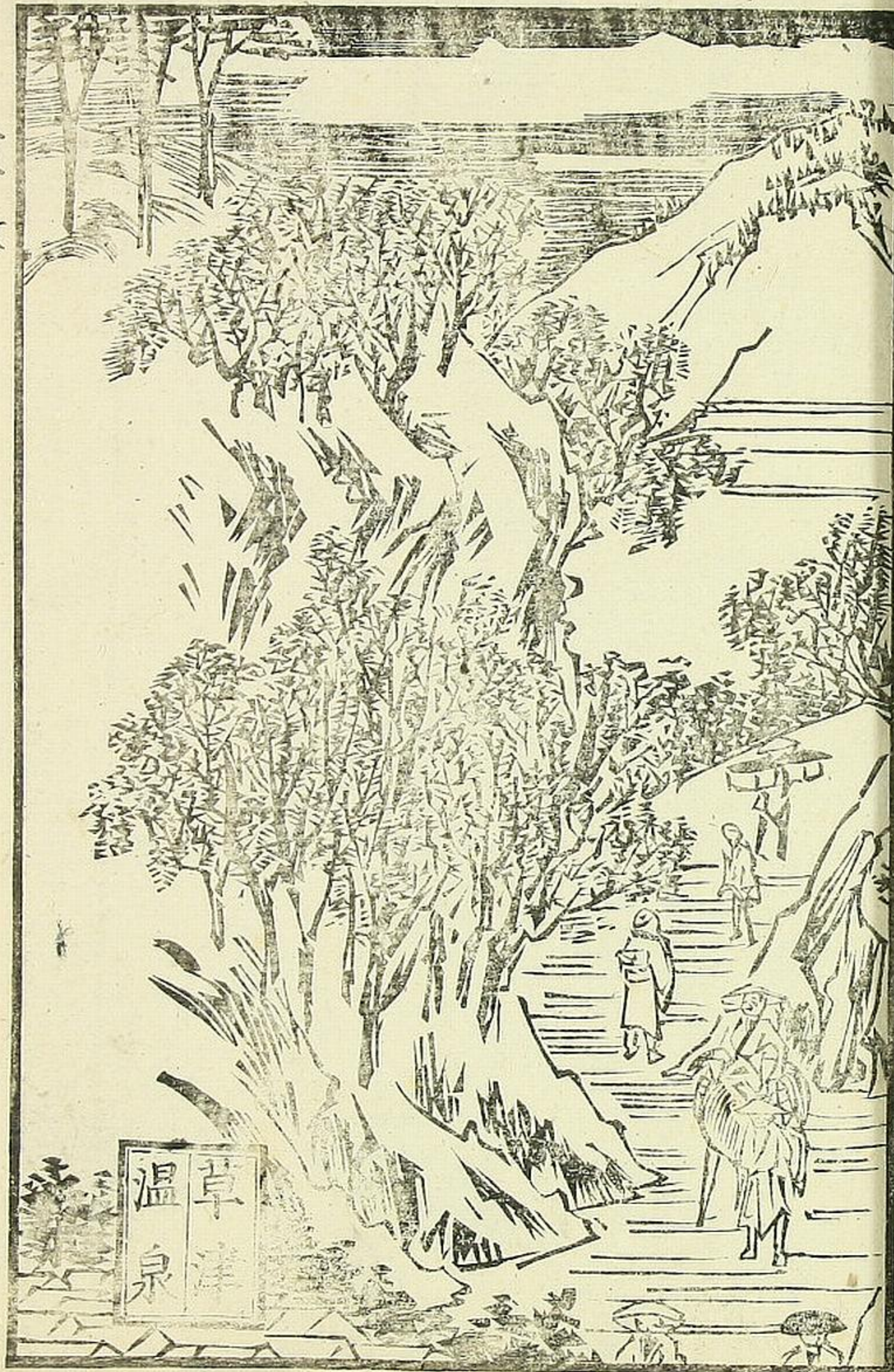
九



芳ヶ平茶屋

信州
山田湯

信州湯道



草津

草津
温泉

010190534290

禁賣買

旅店 山本十一郎

上毛國吾妻郡

草津温泉場

製本所

東京神田鍛冶町六番地

長谷川忠兵衛



